

# NEWSLETTER

No100119

バリューチェーンはマトリックスより数字が多く面倒で煩わしく感じられるかもしれませんが。6つバリューチェーンの表のうち少なくとも一つには目を通してみてください。マトリックスの数値構造とは異なる特徴的な数字(価値)の構造に気づくはずですが、「そこにマネーが落ちている。」と言われればバリューチェーンが見る目が変わるに違いありません。その特殊な構造をよくご覧ください。その構造や数字の意味がわかるとマトリックスよりバリューチェーンの方が面白く感じられるはずですが。また、バリューチェーンの6つの表をつないで見ればマトリックスを見なくともマトリックスの数値構造が読み取れます。

この意味について多めにみて下さい。

第一に、バリューチェーンはマトリックスの数値構造と裏側(表面から見えないところ)で繋がっています。第二に、バリューチェーンにはマトリックスの数値/数値構造には含まれない独立した独自の価値を表す数字が含まれています。

OTV

含んでない

バリューチェーンを生かすには OTV と ITV の意味を理解するが大事です。それを知らないと非常に重要な基礎的な土台の部分においてナンバーオペレーションの本質を理解していないことになり、レポートに書かれた手を真似てオペレーションを実行し収益をあげた結果が出たとしてもなぜ収益があがっているのか本質を知らずにオペレーションを実行していることになりかねません。あるいは、表面の PL の数字に踊らされて本当の収益を認識していないという事態に陥る恐れがあります。

P のバリューにおける ITV は以下の式で表すことができます。

P の  $ITV = \text{MAX}(0.00, S - VIXF)$  [S=Strike]

VIXF[10]19P @2.50 とします。

VIXF[10] @18.00 のとき、

19P の  $ITV = \text{MAX}(0.00, 19.00 - 18.00) = 1.00$

ITVはC、Pの0.10より小さい方がよい。

バリューチェーンの数字(価値)を活かすためにはOTV/ITVの理解が欠かせない。

18P の OTV は 18P のバリューから ITV を差し引いた残りです。

18P の  $OTV = 2.50 - 1.00 = 1.50$

上記の 1.50 はエクスパイア時において 0.00 になります。

すなわち、1 コントラクト(1 コントラクトは 1 単位の数量)あたり 150 ドルが

失われます。VIXF[10]の数値がどのように変化しようとそれに関係なく OTV は失われるのです。

一方、C のバリューにおける ITV は以下の式で表すことができます。

C の  $ITV = \text{MAX}(0.00, VIXF - \text{Strike})$

VIXF[10]17C @2.25 とします。

VIXF[10] @18.00 のとき、

17C の  $ITV = \text{MAX}(0.00, 18.00 - 17.00) = 1.00$

$C/P$  のバリュー =  $ITV + OTV$

$OTV = (C/P \text{ のバリュー } - ITV)$

17C の OTV は 17C のバリューから ITV を差し引いた残りです。

17C の  $OTV = 2.25 - 1.00 = 1.25$

この 1.25 はエクスパイア時において 0.00 になります。